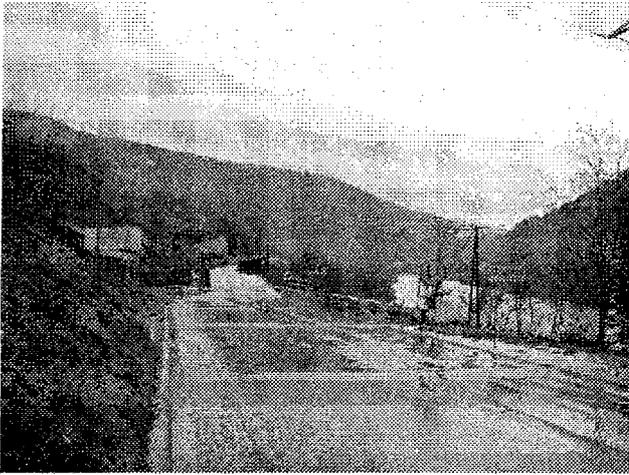


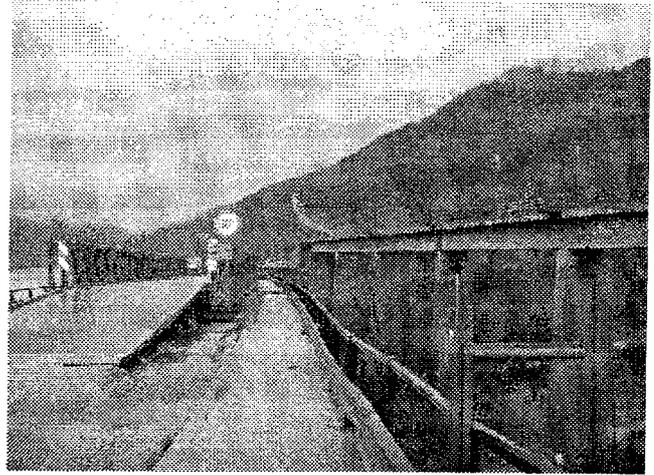
6. 候補橋梁周辺状況

6-1 概略図

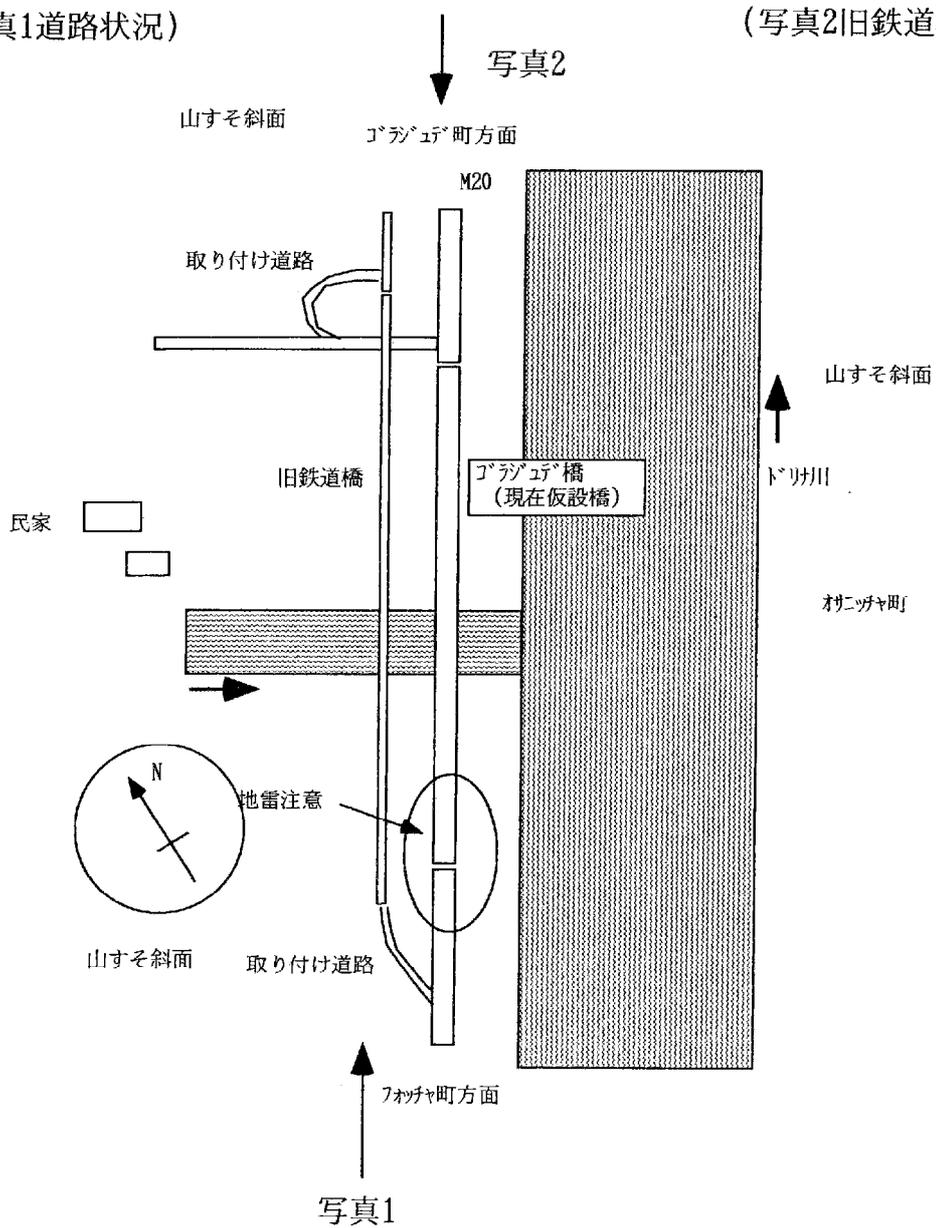
FD-01	ゴラジュテ橋
-------	--------



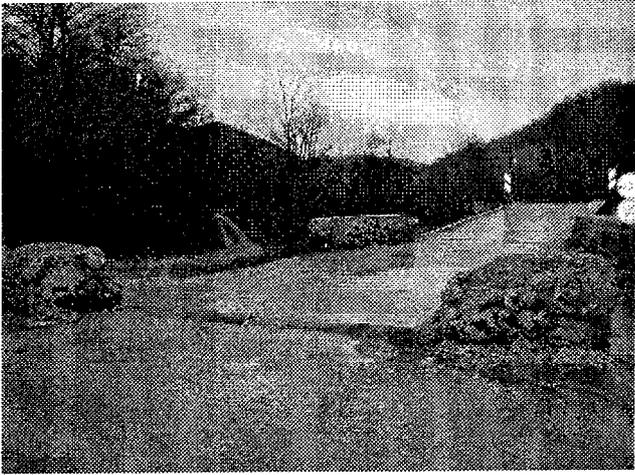
(写真1道路状況)



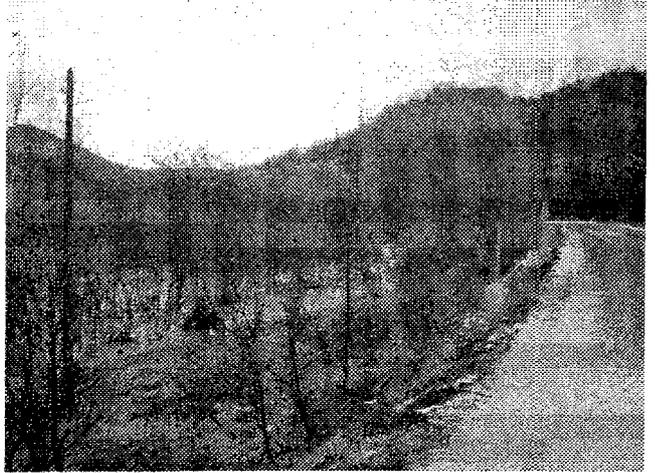
(写真2旧鉄道橋)



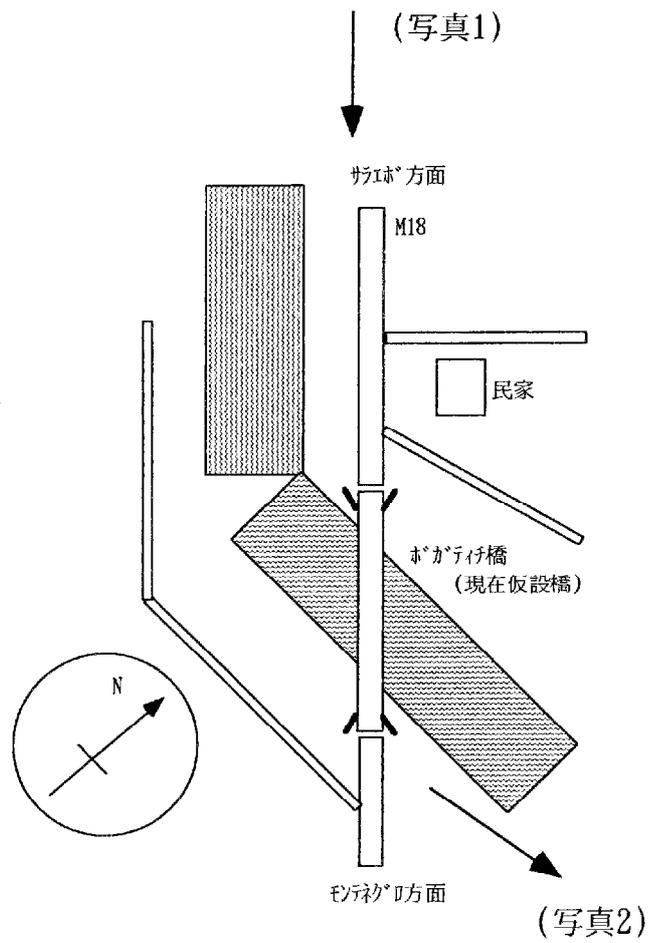
FD-02	ホカテイ橋
-------	-------



(写真1取り付状況)

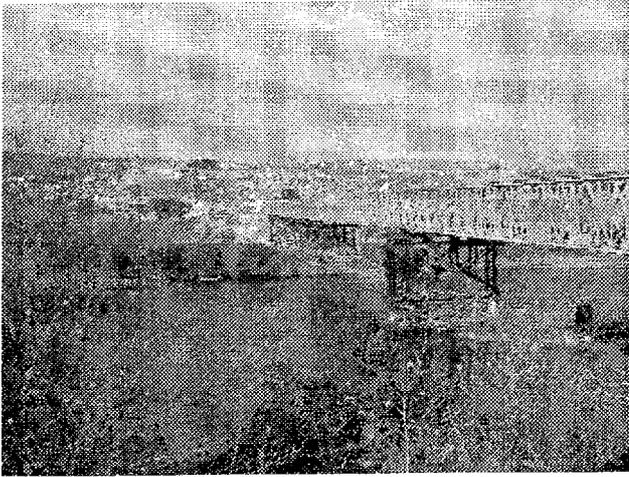


(写真2沿道状況)

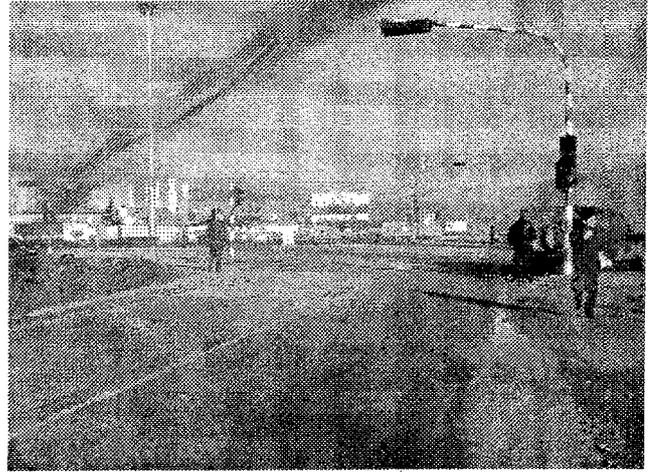


RS-02

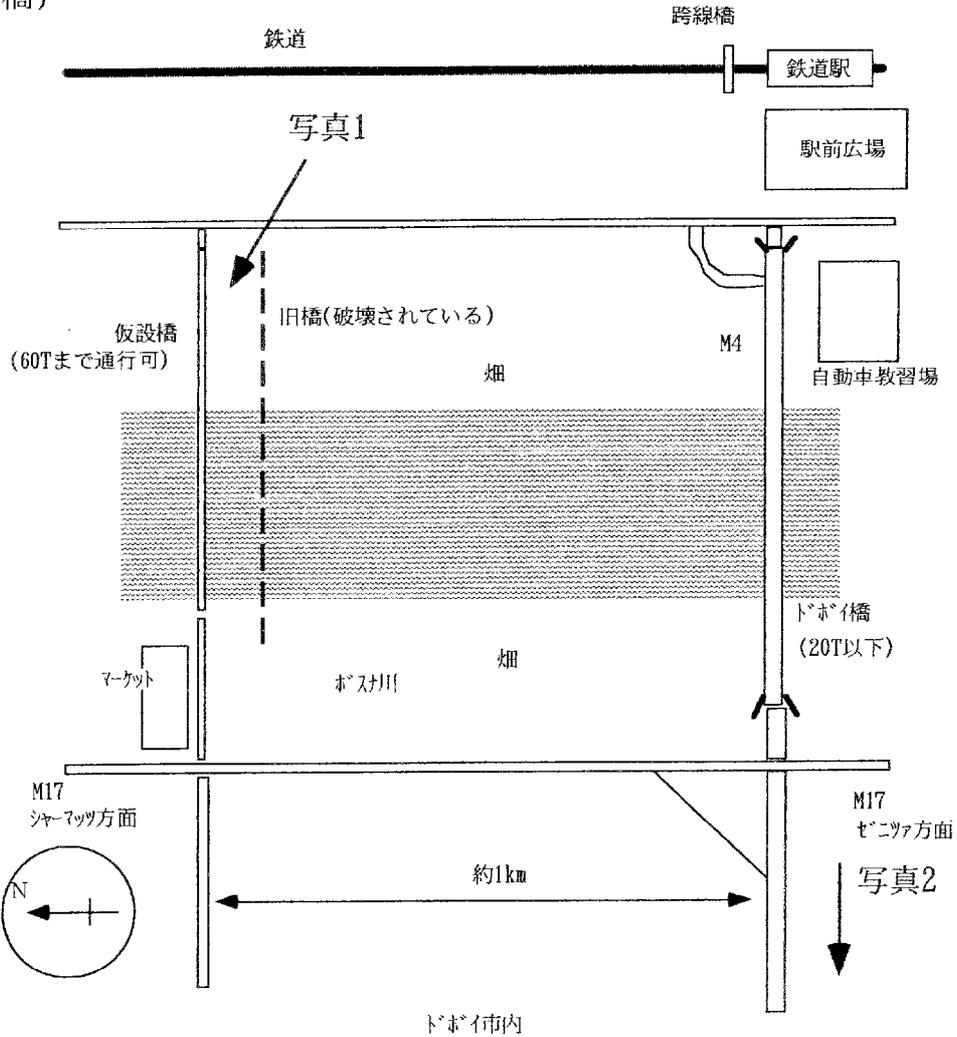
トホイ橋



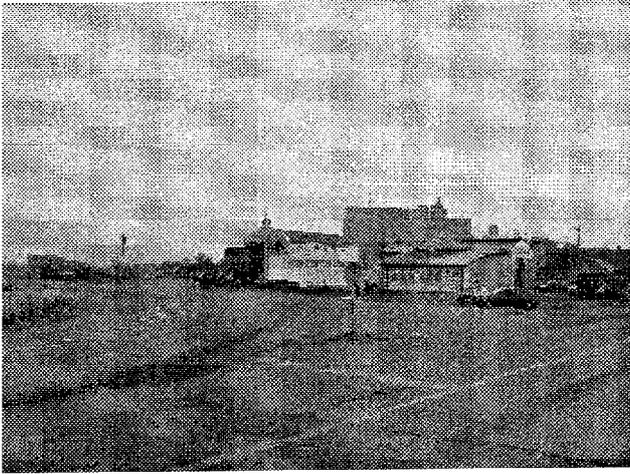
(写真1仮設橋)



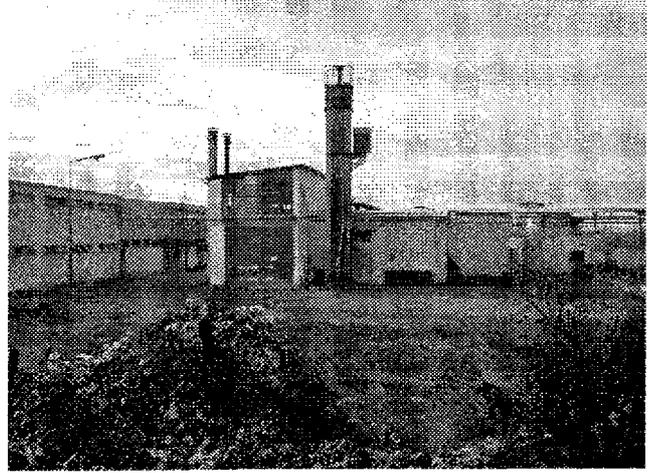
(写真2トホイ市内)



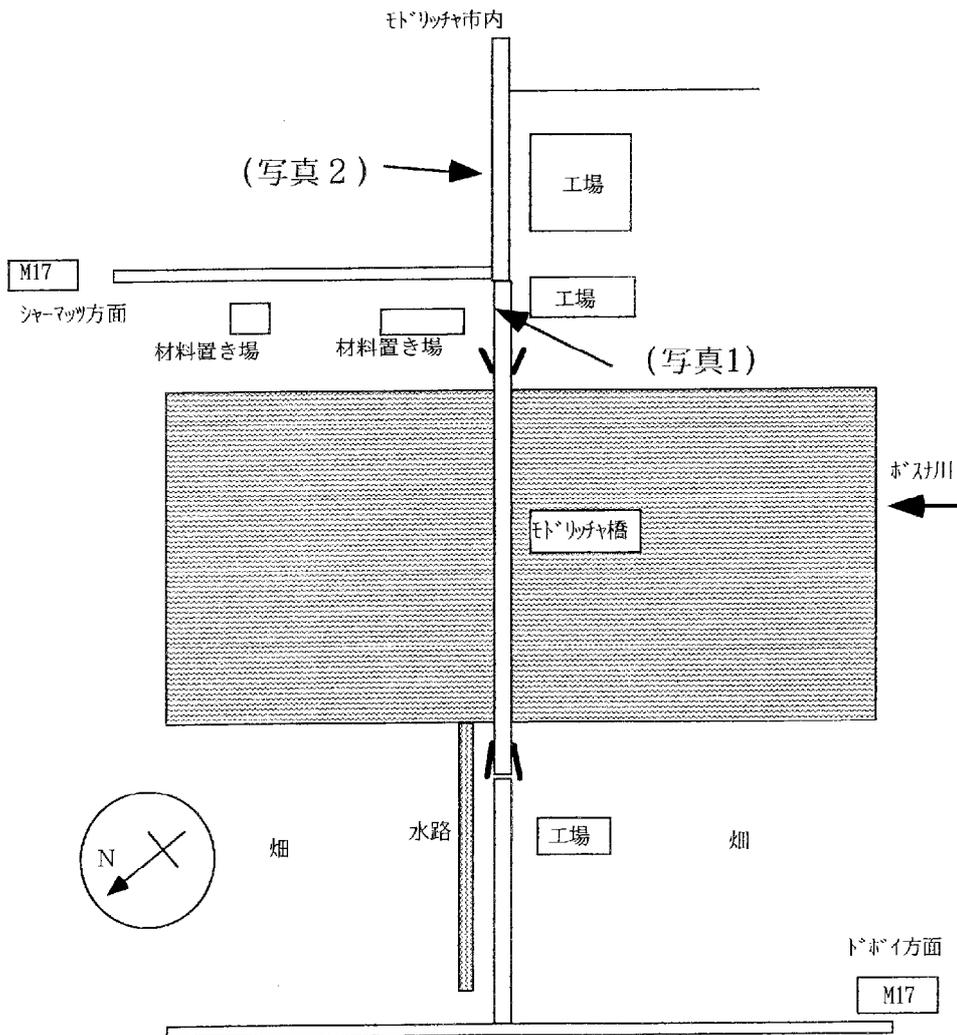
RS-03	モトリッチャ橋
-------	---------



(写真1交差点)

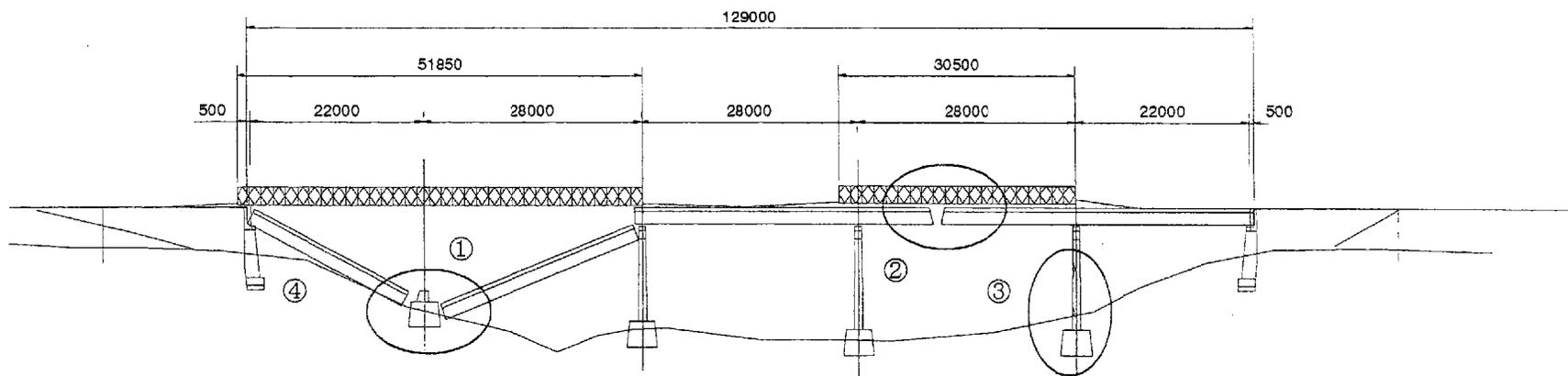


(写真2工場)

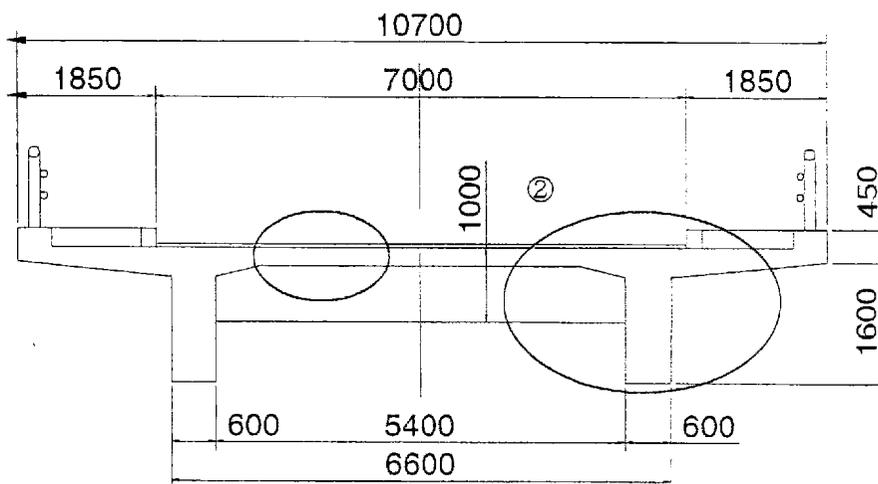


# 損傷状況図

FD-01 ゴラジュデ橋

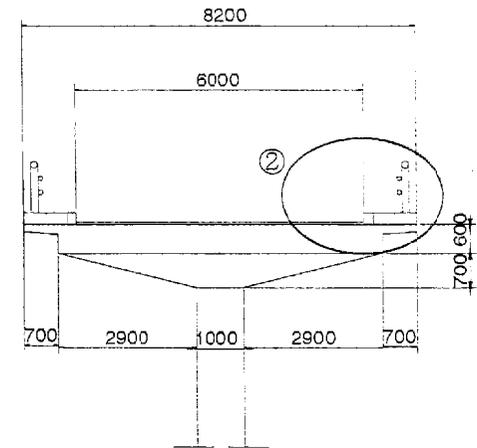
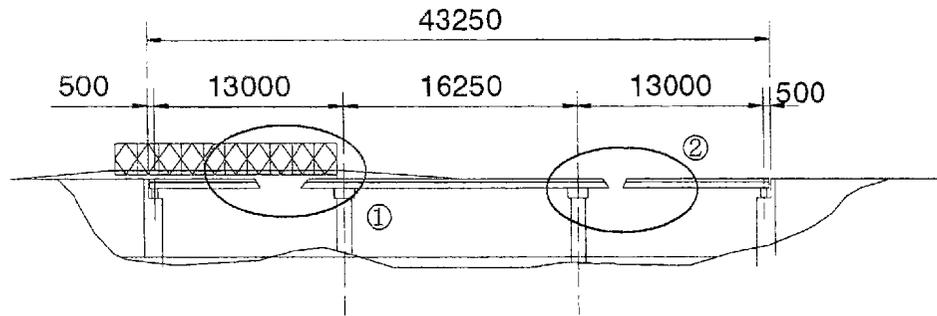


- ① P 1 橋脚が完全に破壊され、第 1、2 径間の上部工は、崩落している。この区間は、橋梁上にベイリー橋の仮橋を設置し交通を確保している。
- ② 第 4 径間の上部工は被弾し、一部主桁、床版のコンクリートが壊れ落ち、鉄筋が露出している。ベイリー橋を設置している。
- ③ P 4 橋脚は、被弾しており、大小十数箇所コンクリートが落ち、鉄筋が露出している。特に根本付近では大きな損傷を受け危険な状態であり、早急な補強が必要である。
- ④ A 1 橋台付近には、地雷埋設危険地帯の表示があり、プロジェクト開始前には確実な撤去が必要である。



損傷状況図

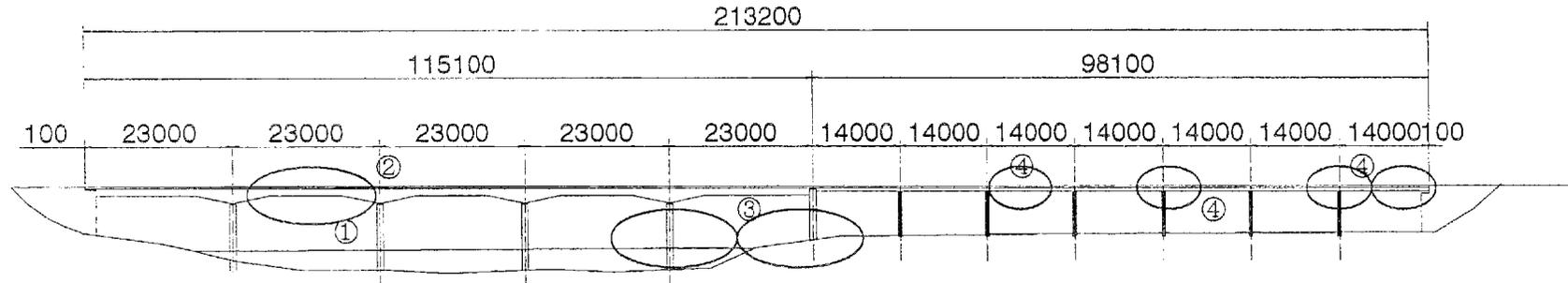
FD-02 ボガテイチ橋



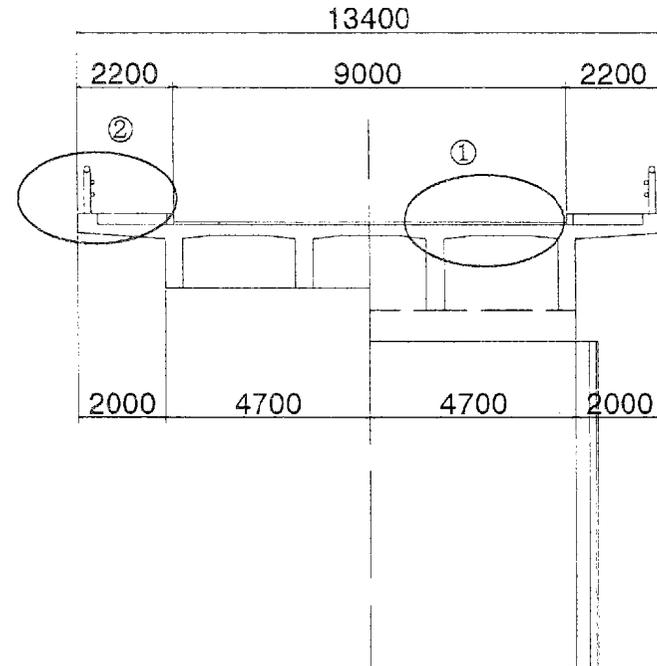
- ① 第1径間の上部工が被弾し、一部床版コンクリートが崩壊し、鉄筋も破断している。この区間は、ベイリー橋を仮橋として、本橋床版上に設置し、交通を確保している。
- ② 第3径間の床版も一部被弾し、張り出し床版コンクリートが落ち、また、手すりも破損している。

## 損傷状況図

RS-02 ドボイ橋

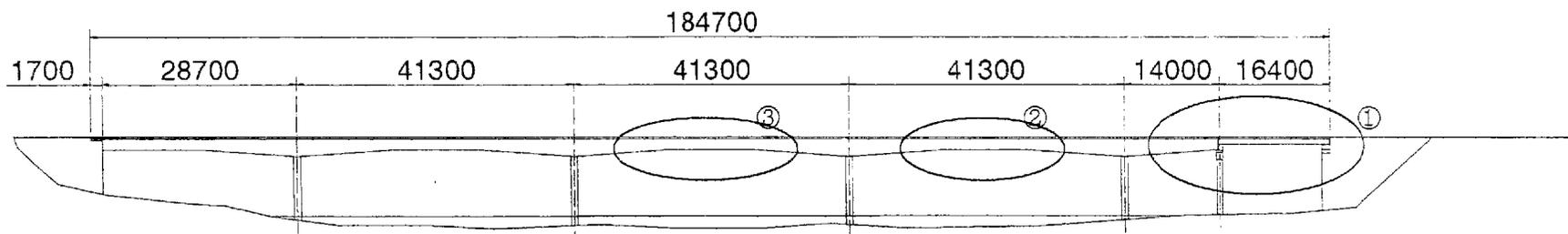


- ① 河川横断部の主橋梁は、5径間連続のRC変断面桁橋であり、老朽化が進んでおり、床版には遊離石灰及びクラックが見られる。主桁の損傷は見られない。
- ② 歩道はプレキャストコンクリート版で造られているが、ほとんどの版が破損し、歩道内部の配管も一部壊れている。舗装の痛みもひどく、割れ破損が見られる。
- ③ 主橋梁の壁式橋脚はコンクリートの劣化がすすんでおり、コンクリートの層状の抜け落ちがある。鉄筋の露出はない。
- ④ 河川敷の橋梁部は、7径間連続RC主版桁橋であり、床版、主桁とも劣化が著しい。床版は全ての範囲で遊離石灰がみられ、鉄筋の錆び汁も現れている。コンクリートが崩壊し鉄筋が露出し腐食が進んでいるところが多くあり、主桁部についても、太径の鉄筋が露出し、腐食も進んでおり、危険な状況である。

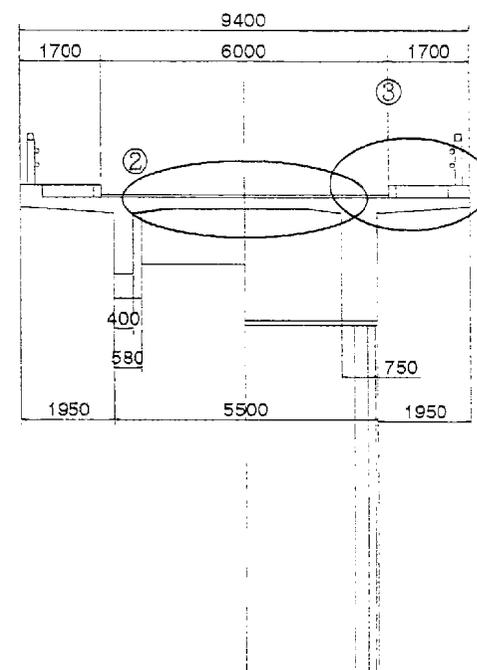


## 損傷状況図

RS-03 モドリッチャ橋



- ① 本橋は、5径間連続のRC変断面T桁橋であるが、内戦時に第1径間に被弾し、桁の一部が破壊され落ちた。緊急復旧により、この破壊された第1径間の主桁はP1橋脚側の一部を残し撤去を行い、新たに橋脚を設置し、RCT桁を設置した。
- ② 橋梁全体の老朽化が進んでおり、床版全体に渡って遊離石灰、クラックが発生している。一部コンクリートの剥がれ落ちもあり、鉄筋の錆び汁も出ている。ただし、主桁部には、クラック及びコンクリートの剥がれ等は見られない。
- ③ 重交通により、舗装の痛みはひどく、全体的にクラック及びアスファルトの抜け落ち穴がある。歩道のRC版も破損が多く見られる。
- ④ 車道幅の割に重車輛の通行量が多く、すれ違いが辛い。また、重車輛通行時の橋梁全体の振動が激しい。



6-3 地雷除去必要範囲

ゴラジュデ橋のA1橋台の周辺には、地雷危険地帯の表示があり、無償資金協力プロジェクトとして基本設計調査を実施する前に、撤去が必要である。

本橋は、破壊された上部工を撤去し、橋脚、橋台は補修し、使用する計画である。工事中の迂回路としては、旧鉄道橋を使用する。また、橋梁下に進入する際は、地元道路を通行するため、この範囲が工事として必要となる。

工事の為に地雷撤去が確実になされていないおおよその範囲を図に示す。

